

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・計画段階で相互の役割を確認し、目標を共有しながら事業計画を作成することができている。
- ・事業を進めるにあたり、区が提供できる情報を提示し、連携しやすい環境である。
- ・年度の振り返りの時期に課題を共有し、次年度の計画策定に役立てることができている。

【今後改善が必要と思われること】

- ・子育て世代を取り巻く環境について共有した上で、事業計画をたてていく必要がある。

2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・毎月の定例会で事業の実績などは共有されている。
- ・事業ごとの定例会に区の職員も参加し、細かく情報共有ができている。
- ・懸案事項がある場合は、速やかな連絡・相談体制を取り、拠点と区が一丸となって対応できている。
- ・拠点事業や区の事業にお互いが参加し、協力しあう関係が出来ている。

【今後改善が必要と思われること】

- ・年度内に行う事業については、事業の進捗に応じて目標達成できるスケジュール管理が重要である。
- ・実施している事業について、より市民に発信していく必要がある。

3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・2期目振り返りの時点では、相談を受けた課題のある利用者を区につなぐ事が出来ていなかった。つなぎ方に拠点と区で認識の違いがあった。法人変更に伴い、区と拠点とで相談者の連携についてルール化した事で、状況が改善し、毎月定期的に情報共有ができるようになった。

【今後改善が必要と思われること】

- ・単年度のアンケートの分析は行ったが、経年比較はできていなかったため、長期的な視野で拠点利用者の傾向の把握に努める必要がある。